

# 取扱説明書

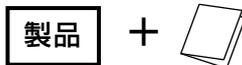
# DUAL GAUGE PRO

## OBD接続、パワードライブ対応品

### ブースト+デジタル DPB-X

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書（本書）をお付けください。

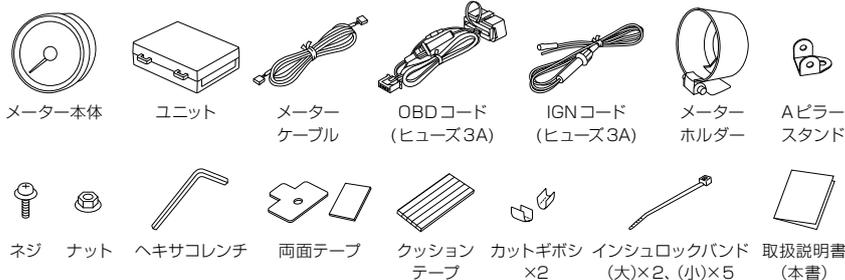


**本製品をパワードライブと併用する場合は  
3ページの「表示切り換えと設定」をご覧ください。**

## 目次

- セット内容・警告・注意 ..... 1
- 特長 ..... 1
- 各部の名称と表示の種類 ..... 1~2
- 配線接続方法 ..... 2
- 製品の固定 ..... 2~3
- 基本操作方法 ..... 3
- 表示切り換えと設定 ..... 3
- 照明色の切り換え方法 ..... 4
- 照明の明るさ調整 ..... 4
- 故障かな?と思ったら ..... 4
- (センサー装着による接続方法) ..... 4

## 内容物をご確認ください



1. 本製品とOBD接続する他社製品および弊社一部製品との併用はできません。
2. 弊社OBD接続品との併用はこちらをご覧ください。⇒ <https://pivotjp.com/obd/>

### 警告

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 換気の悪い場所で作業しない  
排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- コードの被ふくを傷付けない  
ショート・接触不良等による火災、通信不具合による電装部品・エンジン・車輻破損の危険があります。
- 運転中に操作をしない  
運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。
- 製品の固定、配線処理は確実に  
製品固定や配線処理は、運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

### 注意

下記内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- DC12V車で使用する  
本製品はDC12V車用です。それ以外の電圧のクルマには装着できません。
- 装着直後は製品に強い力を加えない  
両面テープで製品を固定した直後は、はげやすくなっています。ご注意ください。
- 薬品類は使用しない  
ゴミ・汚れが付着した場合、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。アルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用しないでください。
- 高温となる場所や水のかかる場所には装着しない  
故障の原因となります。
- ネジ・部品は元の状態に戻す ●まぶしく感じる場所には装着しない
- 加工・分解および改造をしない

## 特長

- 本製品は配管や配線作業が不要でOBDに簡単接続で表示できるメーターです。
- サブコン「POWER DRIVE」と併用してもブースト表示に誤差のない新表示方式採用。(特許出願済み)

## 各部の名称と表示の種類

【メーター】

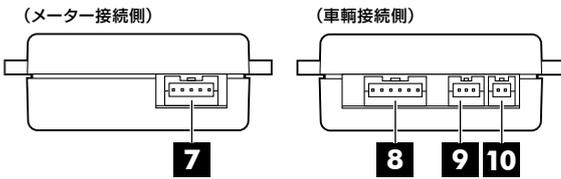


- 1 アナログ表示部 ブーストのデータを表示
- 2 針 現在の数値やピーク値を表示
- 3 スイッチ デジタル部の表示切り換え・ピーク値の表示とリセット
- 4 デジタル表示部 複数のデータを切り換え表示
- 5 イルミ (夜間照明) 表示中イルミは常時点灯・3段階調光可能

アナログ表示部	文字・針：白 or 青 (切り換え可能)
デジタル表示部	赤
アナログ表示部	ブースト (OBD) [-100 ~ 154 kPa] ブースト (センサー) [-100 ~ 200 kPa] ※
デジタル表示部	水温 [-35 ~ 150 °C] 電圧 [8V ~ 18V] 油温 [-35 ~ 150 °C] ※

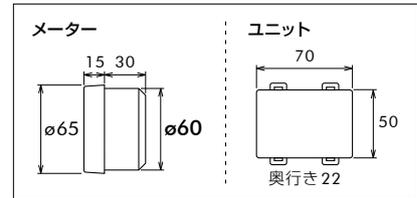
※ 別売センサー接続時

**【ユニット】**



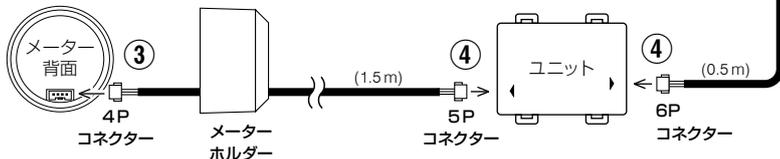
- 7** **メーター用コネクタ**  
メーターケーブルを接続
- 8** **電源用コネクタ**  
OBDコードを接続
- 9** **ブースト用コネクタ**  
別売ブーストセンサーを接続
- 10** **油温用コネクタ**  
別売油温センサーを接続

サイズ [単位:mm]

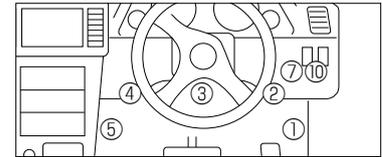


**配線接続方法**

- ① エンジンを始動する。
- ② OBDコネクタを故障診断コネクタに差し込む。
- ③ メーターケーブルの4Pコネクタをメーター背面に差し込む。
- ④ メーターケーブルの5PコネクタとOBDコードの6Pコネクタをユニットへ差し込む。



**故障診断コネクタ位置図**



トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
日産	①②③④⑥⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤	スズキ	②④
三菱	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤

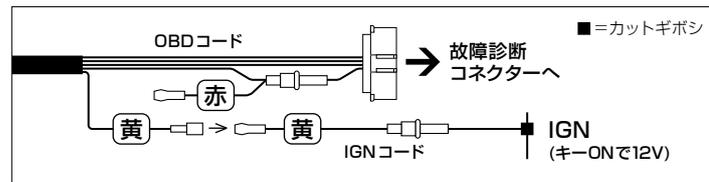
- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側 (フタ付の場合あり)
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)
- ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部)

**電源をIGN接続する場合 (対応車表に記載がある車種、又は作動に支障がある車種)**

メーターの起動と停止は電源接続方法で異なります。

常時 (IGNコード使用なし)	IGN (IGNコード使用)
ECUに運動	キースイッチに運動

● OBDコードの(赤)と(黄)コードのコネクタを抜き、(黄)コードのコネクタにIGNコードを接続し車輻のIGNへ接続。(ACC不可)



**OBDコネクタ取扱時の注意点**

<p>差し込み時・抜き取り時は、この凸部を持ってください。</p>	<p><b>注意</b></p> <p>コネクタ抜き取り時、コードを持って引き抜くのは絶対におやめください。断線の恐れがあります。</p>	<p><b>凸部を握れない場合</b></p> <p>車種によっては、コネクタが奥まで入っていて、凸部を握れない場合があります。</p>	<p>その場合は、インシュロックバンドの輪の部分を持って引き抜いてください。</p>
-----------------------------------	---	--	--

**カットギボシの使い方**

<p><b>1</b> 10mm</p> <p>接続するコードの被ひくをむく。</p>	<p><b>2</b> 10mm</p> <p>製品コード先端の被ひくをむく。</p>	<p><b>3</b></p> <p>両方の芯線を絡める。</p>	<p><b>4</b></p> <p>確実にかしめる。</p>	<p><b>5</b></p> <p>ビニールテープで絶縁する。</p>	<p>かしめる際は圧着ベンチを使用するか、ベンチで折りたたみ、半田付けなどを行ってください。</p>
---	---	-----------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--

**製品の固定**

**メーターの固定**

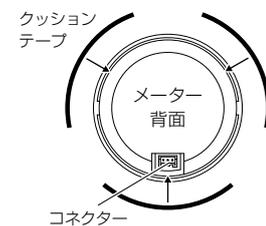
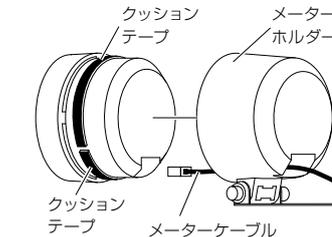
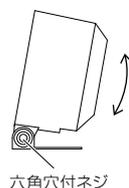
**A メーターホルダーを使用する場合**

- ① メーターホルダーを両面テープで固定する。
- ② ネジを少しゆるめ、見やすい角度に合わせた後、ネジを締め固定する。
- ③ メーターにクッションテープを貼りメーターケーブルを接続しメーターホルダーに差し込む。抜けやすい場合等はクッションテープを追加してください。



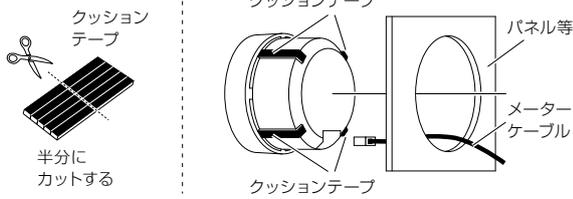
※粘着力が低下するため、貼り直しは行わないでください。

- ②



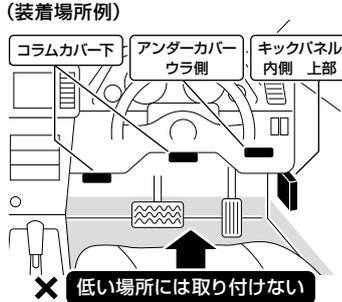
## B パネル等に埋め込む場合

クッションテープを半分にカットし、圧入状態になるように枚数を調整してメーターに貼り、メーターケーブルを接続しパネル等に差し込む。

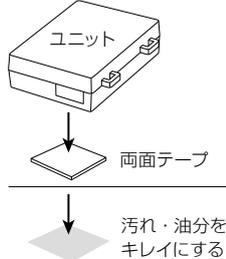


## ユニットの固定

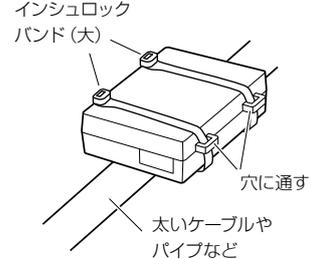
右図のような、水のかからない場所に固定してください。



## 平面上に固定する

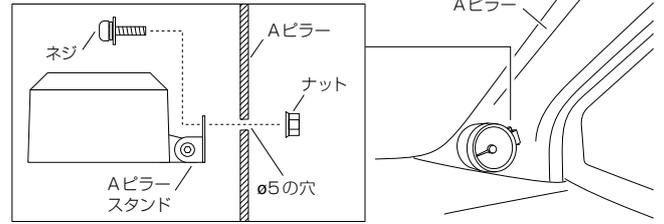


## ケーブルやパイプなどに固定する



## C Aピラースタンドを使用してAピラーへ取り付けられる場合

Aピラーの取り付けたい位置にφ5の穴を開け、Aピラースタンドを使用しネジとナットで固定します。



## 基本操作方法

- 1 エンジンを始動する
- 2 オープニングデモ
- 3 各表示
- 4 エンジンを停止する
- 5 メーター OFF 針は最低値付近で止まります。

**オープニングデモ**

- エンジン始動時に針の位置を検出するため、もっとも左側の位置へ数回動き、その後最大値を指し、表示項目に移行します。
- 車輛側との通信の関係上、エンジン始動後オープニングデモまで数秒かかる場合があります。(IGN接続時は除く)

**表示部の消灯について**

- 車輛側との通信の関係上、エンジン停止から表示がOFF(消灯)するまで最長1分かかりますが、正常な動作でクルマ側への負担は一切ありません。(IGN接続時は除く)

## 表示切り換えと設定

パワードライブと併用する場合はレベルの設定を行ってください。

### デジタル表示の切り換え

メーター作動中、スイッチを押すごとに切り換わる



\*1 別売温度センサー使用時のみ表示

### 水温/油温表示の見かた

-35 ~ -1°C 左の7セグが- (マイナス)	0 ~ 99°C 右の7セグがC 数値のみの表示	100 ~ 150°C 数値のみの表示
- 00	00c	100

### レベルの設定方法

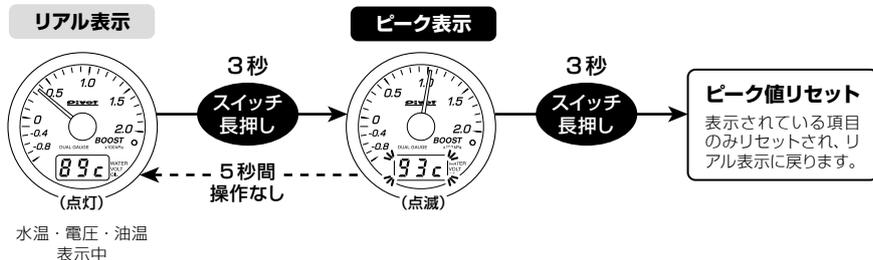
別売ブーストセンサー接続の場合、レベルの設定は不要

- ①レベル表示中にスイッチを3秒長押し
- ②現在のレベル表示が点滅に切り換わる
- ③スイッチを押すごとにレベルが切り換わる
- ④5秒間操作なしで設定完了

パワードライブ 品番	ダイハツ専用 D-SPORT コラボモデル PDX-D1 品番: 89561-E240			ホンダ専用 PDX-H1			ホンダ専用 PDX-H2			パワードライブ 未使用 or 0 (ノーマル)
パワードライブで 設定したレベル	1~3	4~6	7~9	1~3	4~6	7~9	1~3	4~6	7~9	0 (ノーマル)
メーター側で 設定するレベル	d1	d2	d3	H1	H2	H3	H4	H5	H6	nor
対応車	コペン、キャストなど			S660、N-BOX (JF1、JF2) など			N-BOX(JF3、JF4)			

\*2 矢印は設定変更順を表しています。

### ピーク値の表示とリセット



- 各ピーク値は、キーOFFでリセットされます。
- ブースト、水温、油温は最高値を、電圧は最低値を表示します。
- スターター作動時の下降電圧を確認したい場合は、キーをONにし、デジタル部表示後にスターターを作動させてください。(IGN接続の場合のみ)

# 照明色の切り換え方法

- 1 + エンジン始動  
メーター消灯時にスイッチを押したままエンジンを始動する
  - 2 現在の照明色の設定がデジタル表示部に表示されたら (例=c-1) スwitchをはなす
  - 3 スwitchを押すごとに照明色が切り換わる [c-1=白、c-2=青]
  - 4 設定を合わせたらスwitchをはなす
  - 5 5秒間操作なしで通常表示に戻る
- 設定完了**

# 照明の明るさ調整

ドアミラーなどに照明が反射し気になる場合などの調整

- 1 メーター動作中 スwitch長押し
  - 2 3秒後にピーク値が表示 6秒後現在の明るさを表示 (例)
  - 3 表示されたらスswitchをはなす
  - 4 スwitchを押すごとに明るさが切り換わる (High) (Mid) (Low)
  - 5 設定を合わせたらスswitchをはなす
  - 6 5秒間操作なしで通常表示に戻る
- 設定完了**

# 故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
エンジン始動で動作しない。	<b>メーターケーブル</b> <b>6Pコネクター</b> <b>OBDコネクター</b> の接続不良。 対応外の車種に取り付けている。	再度ご確認ください。 対応車種表をご確認ください。
始動時に切り換えたデジタル表示から始まらない。	デジタル表示切り換え後3秒以内にエンジンを停止すると、設定は記憶されません。3秒以上経ってからエンジンを停止してください。	
オープニングデモ前に針が一瞬動く。	メーターの特性で、異常ではありません。	

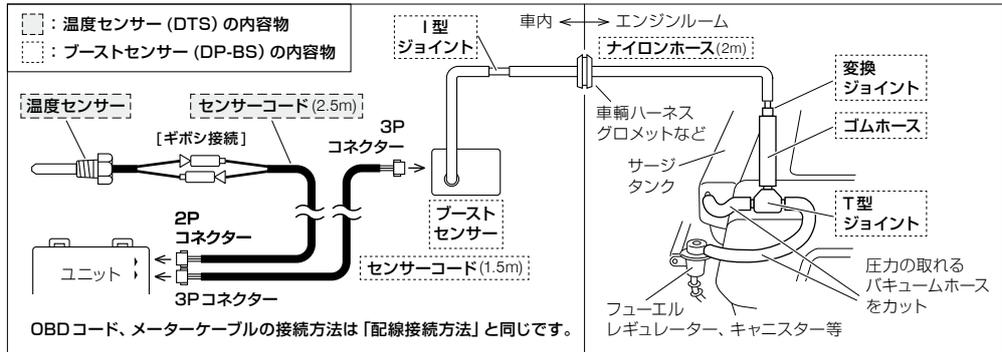
## センサー装着による接続方法 (通常は不要) 一部のデータ計測をセンサーで行う場合

油温を表示させたい場合と、ブーストをセンサーのデータで表示させたい場合は、別売の各センサーを購入し、装着してください。

### ●温度センサー (DTS ¥3,800・税別)

温度センサーの装着には、取り付ける場所に合ったセンサーアダプター (センサーネジサイズ 1/8PT、市販品可) が必要となります。

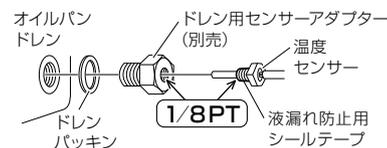
### ●ブーストセンサー (DP-BS ¥7,800・税別)



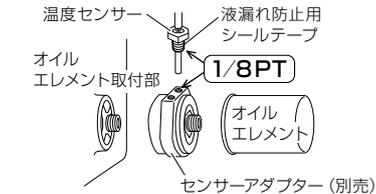
## 各センサーの取り付け方法

### ■温度センサー

#### オイルパンのドレンの場合



#### オイルエレメント取付部の場合



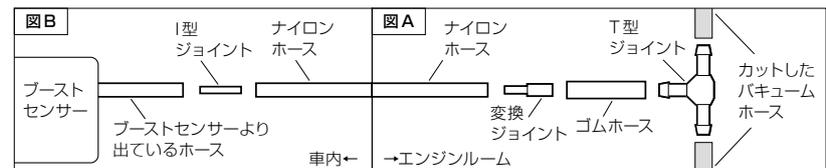
センサーやエレメントが下方方向に突起する場合は、センサーの位置の変更や、ショートオイルエレメントの使用などで対策を行ってください。

### ■ブーストセンサー

#### 取り付け手順

- 1 エンジンルームで、サージタンクやインテークマニホールドから直接出ていて、圧力の取れるバキュームホースをカットします。(例：燃料レギュレーター、キャニスター等へつながっているホース)
- 2 T型ジョイントを割り込ませ、図Aを参考に、各ホースとジョイントの接続を行います。
- 3 ナイロンホースを車輪ハーネスグロメットなどを利用して車内へ引き込みます。
- 4 引き込んだナイロンホースとユニットのホースをI型ジョイントを使用して接続します。(図B)

ホースやジョイントはそれぞれ確実に接続し、簡単に抜けてしまわないか、圧力漏れはないかなどをご確認ください。(状況によっては、各接続部に抜け防止処理をしてください。)



1. ブーストセンサーは必ず車内に取り付けてください。(エンジンルームは不可)
2. ブーストセンサーから出ているホースを引っばって抜かないでください。
3. 車輪の圧力のとれるホースがφ4以外の場合は、車輪に合ったサイズのジョイントを別途ご用意ください。